

あけびだより

平成28年7月



絵手紙教室

繁田 香 氏

全国パーキンソン病友の会全国総会・宮城県大会

東日本大震災の復旧・復興真っただ中の仙台で6月26日・27日第40回全国総会が開催されました。毎年開催地の特色ができる大会を楽しみに参加される会員さんも多く、今回はアイデアが一杯詰った、今までにない取り組みがありました。宮城県支部長の挨拶に、「一つ目として、先生と話そう（トーク＆トーク）」という企画です。全国的にも著名な先生ばかりです。皆さんのがんばりを直接お聞きし、これから的生活を快適にして頂きたいということからこの企画をしました。二つ目として大会二日目に卓球大会、震災復興ツアーといった催しを企画しました。ケヤキ並木の縁が映える「杜の都」仙台での大会が、会員の生涯の思い出に残るようにとの願いを込めていました。」とあります。

35のテーブルに“トーク＆トーク”的な先生方が一名づつ座ってあられる光景は素晴らしいものです。これだけの先生方と直接お話しできる機会は今まで経験したことありません。それも患者が直接数名の先生方とお話しするのです。

病院の診察室ではなく、美味しい食事と少しのお酒は先生方を雄弁にしているように思える一時でした。

翌日は震災復興ツアーに参加、3台の観光バスに乗り名取市閑上地区を視察しました。

「海に近い閑上地区は大部分の家屋が津波で倒壊など大きな被害は5年目を迎えてなお先の見えない生活、心の深い傷は癒えていない状況です」語り部さんのお話は淡々としていましたが、ひとすじの涙が自然と流れていきました。

大会のプログラムには『参加先生のご紹介』とあり、書かれた一言は先生方が患者を大切に考えて下さっているのが分かり嬉しくなります。

宮城大会は素晴らしい大会でした。この大会に携わって頂いた皆様に心から感謝致します。

こんなに素晴らしい大会が開催できる患者会「全国パーキンソン病友の会」があります。

「皆でスクラムをくみ、この病気をより上手に乗り越えていくよう、がんばりましょう」

村田美穂先生の言葉をお借りして・・・。

NPO法人あけび 事務所

就労継続支援B型ワークハウスあけび

〒670-0948 姫路市北条宮の町215番地

TEL 079-287-1025 FAX 079-287-1026

Mail: day@akebi.or.jp

特定非営利活動法人あけび

通所介護施設デイサービスあけびの実

〒670-0804 姫路市保城363番地の3

TEL 079-280-6931 FAX 079-280-6932

Mail: akebi-no-mi@akebi.or.jp

通所介護施設デイサービスあけびの輪

〒670-0952 姫路市南条1丁目101-1

TEL 079-284-0055 FAX 079-284-0056

Mail: akebi-no-wa@akebi.or.jp

誌上作品展



岡野悦子氏



長谷川輝子氏

香潤後花

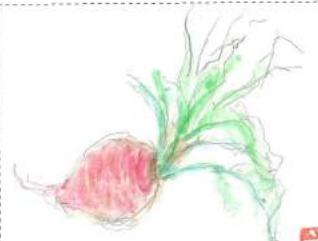
和雄



繁田香氏



田中千満氏



廣田方子氏



木下素子氏



お習字と絵手紙

書き溜めた力作を皆様に見ていただこうと作品展にしました。だんだんと筆を持つ手が弱くなってきますが、この時ばかりは、力強い絵や字をかかれます。

実不行

信也
井神

風景

寺下

典子
寺下

歓迎

幸子
海見

幸子
海見

わきん はる

正世
福永



武明
菊池

ぼくの 蟹

佑造
藤原

翠草

洋子
中村

の都 李良

正
大西

花菜の 花

堯行
池田

あき

紀子
中谷

時鳥

美子
久美子

都踊

悦子
船越

元花

敏子
有馬

狩汐干

龍美
大内

時鳥

安子
梅谷

あけびの実



今月の誕生日会は、3グループに分かれてのトランプ大会でした。普段もトランプをしますが、いざ、大会となると力が入ります。ドーナツ、ババ抜き、七並べの三種目で争い、上位3名とブービー賞には豪華な?商品が当たりました。

今年も梅雨入り前に、ゴキブリ団子を作りました。あけびの実で作ったゴキブリ団子、よく効くとなかなかの評判です

あけびの輪



5月30日～6月3日までトライやるウイークで山陽中学から2名の中学生を受け入れました。卒業後の進路が楽しみです。

昨年のJPC（日本パーキンソン病コングレス）で交流させて頂いた藍野病院からDVD（パーキンソンダンス）を頂きさっそく見ながら体操をしています。

ワークハウスあけび

ワークに変化



その1：ワークに来られて初めて安田さんが卓球をされました。とても上手で、なかなか運動神経が良い事に改めて気づかされました。安田さんはワークに来る事をとても心待ちにされているようでスタッフもうれしい限りです。

その2：長らく休まれていた山根さんが6月20日より利用を再開されました。体調はまだまだ思わしくないようですが、それでもやっぱりワークに来ようと思われた気持ちを大切に、継続して利用される事を心から願っています。



今回のお楽しみ会は、久しぶりの映画鑑賞という事でテラツソに行ってきました。映画は、「ズートピア」と「64ロクヨン前篇」に絞り、それぞれ見たい方の映画を選んで鑑賞してきました。



ズートピア

*人間社会を見ているようでしたが、楽しく見る事が出来ました。 長谷川美恵

*映画なんて久し振りに見ました。喜怒哀楽がハッキリしていて面白かったです。 石橋和久

6月 施設対抗

ビーチボールバレー競争

記録発表

輪	6月28日 (木)	414回
実	6月4日 (土)	641回
ワーク	6月29日 (金)	451回

ワークの仕事

お知らせ

すこやかセンターバザー



7月21日 (木)

*昔務めていた会社での人間関係を思い出すようなシーンが次々と現れていたので、どの社会でも色々あるんだなあと思いました。 北村俊樹

*人間関係が最も難しいなと思いました。 職場事情が解りやすく出来ていたと思います。 中山繁司郎

64 ロクヨン

“あけび”というもう一つの(家)が必要なわけ



パーキンソン病の症状の特徴から多くの患者は長い療養生活を送ることになります。そして、声が小さい・字が書けないなどコミュニケーションが取れなくなつて行きます。「コミュニケーションが取れないくらいなら死んだほうがましだ」と言う人もいます。また、お薬の副作用によって身体・精神にも症状が及びます。一緒に生活をしている家族であっても、病気を理解できず、孤独感に苦しむ患者は少なくありません。私達パーキンソン病患者でも人間らしい終末期を迎えるとい、といつも思っています。

私が発症した頃は、4大症状は『氷山の一角です』と言われていましたが、今では難しい疾患であるということを実感します。

他の神経難病とくらべれば、お薬は沢山ありますが、5年10年と服薬を続けると重篤な副作用がでることもあります。長期に飲み続けて初めて分かるものですから服薬している時は想像もしないことです。

癌のように発症から早い時期に生命を奪われるのは悲しく辛いことですが、パーキンソン病のように長期間の療養を必要とし、だんだんと人間としての尊厳をなくしていく姿（自分も通るであろうみち）を見つめるのも悲しく辛いものです。

自宅ではないもう一つの家がなぜ必要か？

住み慣れた家を終の棲家にできる人はそう多くはないでしょう。一人ではとても暮らせないけれど、家の延長線上に共に暮らす仲間がいて、時々離れている家族が来てくれる・・・考えただけでも気持ちが温かくなってしまいます。家族を追い詰めるとともになく、動かぬ身体を悔うことなく、生きてることを喜べる・・・そんな人生であってほしい。

私がまだ若い頃、『ポストの数ほど保育所を』と言われた時がありましたが、今はコンビニの数ほど高齢者住宅が建っているようです。私達は施設に入所してまで氣を使う必要はないのです。

自分を大切に残された時間を過ごしましょう。

苦しんできた私達だからこそ、笑顔の終末期が与えられていいのです。

最後は仲間の中で・・・・・・・・木村美貴子

平成28年6月22日



“あけび”副理事長の木村さんの長年の夢だった「皆で一緒に暮らす」ということが実現するかもしれません。思いがけず、良い住まいが見つかり、「ここならば」と言う強い思いがわいてきたようです。

大きなことなので皆様のお力を借りないとできないことです。可能であればぜひ「あけびのホームホスピス」として、動き出せたらいいなと思っています。具体的な事はまだ何も決まっていませんが、まずは家を見学するツアーから始めたいと思います。一人での生活を考えておられる方、また協力をしてもいいなとお考えの方、ぜひ一度見学ツアーに参加して下さい。

見学予定 7月18日(月)



「卓球クラブ」
7月の練習日

7月5日(火) 7月19日(火)

場所：ルネス花北体育館

連絡は北村・長谷川まで (287-1025)

全国パーキンソン病友の会 全国大会in仙台



今年の全国大会は、34名の医師に各テーブル一人づつ入って頂き相談を受けて頂いたり、患者さん自身が各テーブルを回り、思い思いの先生に相談をされていました。小野さんの横には何と村田美穂先生、藤原さんの横には、武田篤先生と、日本のトップの先生方に相談することが出来、大満足の時間だったようです。勿論水田英二先生も参加され多くの方の相談に応じておられました。



友の会姫路ブロック交流会

7月交流会は休みです。